

専門教養
令和8年7月
60分

受験教科等
特別支援学校 自立活動

注 意

- 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 問題冊子のページ数は、11ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の**選択問題を表す欄のマークは不要**です。
- 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 問題の内容についての質問には一切応じません。

===== 解答上の注意 =====

- 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 「解答番号は

1

。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号

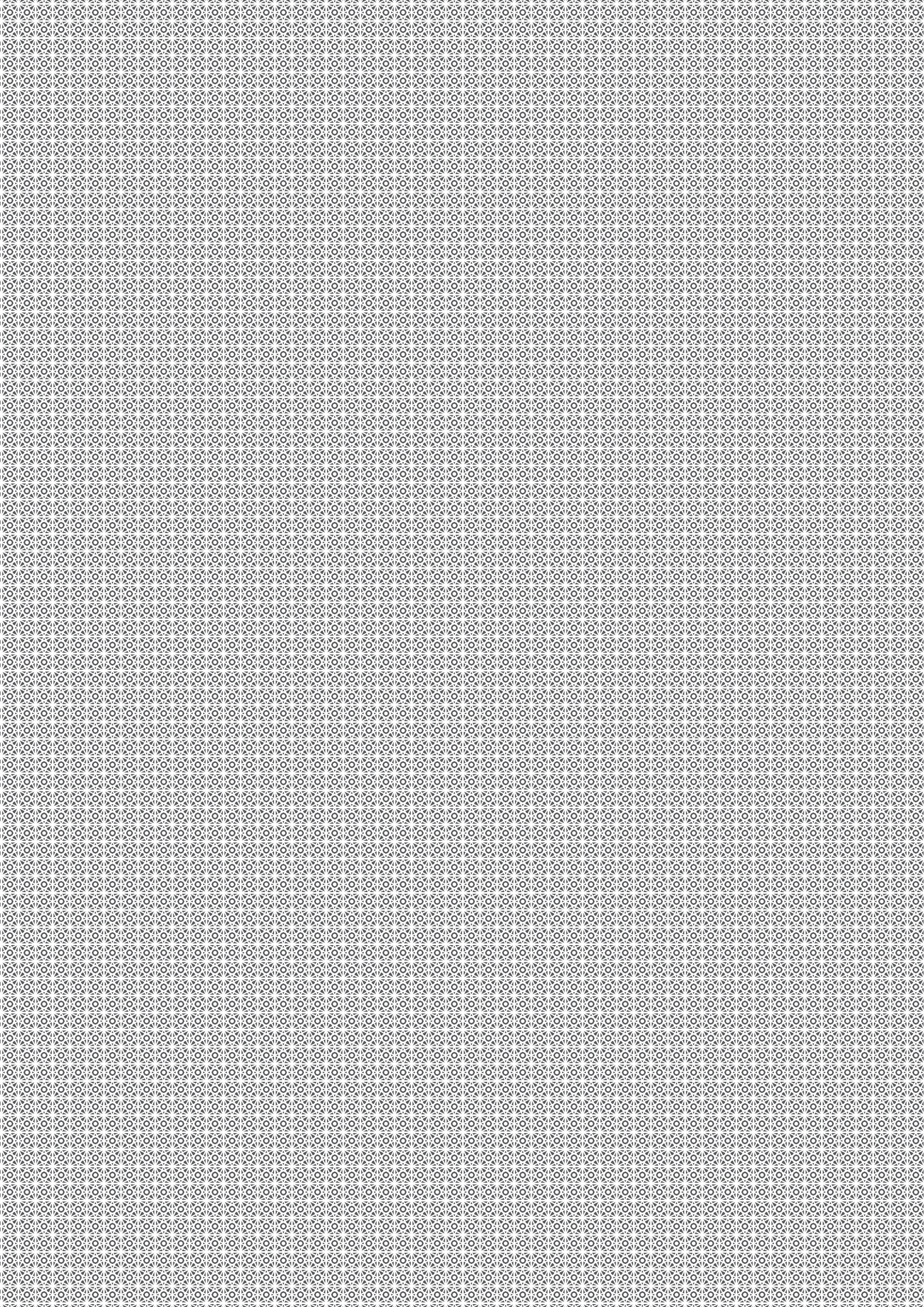
1

 の解答欄の③にマークしてください。

(例 1)

解答番号	解答欄	
<table><tr><td>1</td></tr></table>	1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
1		

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



1

次の各問に答えよ。

〔問 1〕 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」の「教育課程の編成における共通的事項」の「内容等の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部において、学年の内容を2学年まとめて示した教科及び外国語活動の内容は、2学年間かけて指導する事項を示したものである。各学校においては、これらの事項を児童や学校、地域の実態に応じ、2学年間を見通して計画的に指導することとし、特に示す場合を除き、いずれかの学年に分けて、又はいずれの学年においても指導するものとする。
- 2 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部においては、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育及び職業・家庭の各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、全ての児童に履修させるものとする。また、外国語科については、児童や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。
- 3 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部においては、生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、道徳科、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、全ての生徒に履修させるものとする。また、外国語活動については、生徒や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。
- 4 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、各教科の指導に当たっては、各教科の段階に示す内容を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等によらず、具体的に指導内容を設定するものとする。その際、小学部は6年間、中学部は3年間を見通して計画的に指導するものとする。

〔問 2〕 特別支援学校への就学に関する記述として、学校教育法施行令に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

2

。

- 1 区市町村の教育委員会は、文部科学省令で定める日現在において、当該区市町村に住所を有する者で前学年の初めから終わりまでの間に満六歳に達する者のうち認定特別支援学校就学者について、都道府県の教育委員会に対し、翌学年の初めから一月前までに、その氏名及び特別支援学校に就学させるべき旨を通知しなければならない。
- 2 小学校、中学校、義務教育学校又は中等教育学校に在学する学齢児童又は学齢生徒で視覚障害者等になったものがあるときは、当該学齢児童又は学齢生徒の在学する小学校、中学校、義務教育学校又は中等教育学校の校長は、速やかに、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する都道府県の教育委員会に対し、その旨を通知しなければならない。
- 3 児童生徒等のうち視覚障害者等をその住所の存する都道府県の設置する特別支援学校以外の特別支援学校に就学させようとする場合には、その保護者は、就学させようとする特別支援学校が他の都道府県の設置するものであるときは当該都道府県の教育委員会の、その他のものであるときは当該特別支援学校における就学を承諾する権限を有する者の就学を承諾する書面を添え、その旨をその児童生徒等の住所の存する都道府県の教育委員会に届け出なければならない。
- 4 学齢児童及び学齢生徒のうち視覚障害者等でその住所の存する都道府県の設置する特別支援学校以外の特別支援学校に在学するものが、特別支援学校の小学部又は中学部の全課程を修了する前に退学したときは、当該特別支援学校の校長は、速やかに、その旨を当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する区市町村の教育委員会に通知しなければならない。

〔問 3〕 障害者スポーツに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 3。

- 1 ゴールボールは、脳性麻痺者や四肢機能障害者のためにヨーロッパで考案されたスポーツである。選手は、定められたスローイングボックスからジャックボールと呼ばれる白い目標球に向かって、赤チームと青チームがそれぞれ自分のチームの色の 6 個のボールを投げたり転がしたりして、どれだけジャックボールに近づけられるかを競う。
- 2 パワーリフティングは、下肢に障害のある選手が上半身の力を使い、ベンチプレスでバーベルを持ち上げ、その重量の記録を競う。通常のベンチプレスは足が床についた状態で行われるが、下肢に障害のある選手の場合は、延長されたベンチプレス台の上に足を乗せて行う。
- 3 シットイングバレーボールは、座った姿勢でプレーする 9 人制バレーボールである。ボールは公認のバレーボール球を使用するが、コートのはさは一般のバレーボールより狭く、ネットの高さも低くなっている。
- 4 ボッチャは、1 チーム 3 人の視覚障害のある選手が行う対戦型のチームスポーツである。選手は、視力の程度に関係なく、アイシェードという目隠しを装着する。攻撃側は、相手ゴールに向かって、鈴の入ったボールを転がすように投球する。守備側は、ボールの音を聞き分け、全身を使ってゴールを守る。

〔問 4〕 弱視児童・生徒に対する配慮に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 4。

- 1 教室では、適切な明るさを調節することが必要である。直射日光を取り入れるために、カーテンやブラインドは使用しない。
- 2 見やすい教材を提示するためには、同系色で彩度の低い色を隣り合わせに用いたり、色と色との境界には、できるだけ輪郭線を入れたりする。
- 3 定規は、目盛りが読みやすくシンプルなものがある。不透明の黒地に白文字のものがある。
- 4 ノートは、罫線が細いものを選択する。図面なども線を細くすると見やすくなる。

〔問 5〕 耳の疾患に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 5。

- 1 メニエール病は、難聴、耳鳴などの聴覚症状を随伴し、めまい発作を繰り返す疾患である。メニエール病の本態は、内リンパ水腫と考えられている。
- 2 中耳炎は、中耳に炎症が起こっている状態である。急性中耳炎は、耳管を経て、細菌やウイルスが感染し、炎症が起こる疾患である。滲出性中耳炎は、炎症によって増加した滲出液が、耳管から咽頭へと排出されて起こる疾患である。
- 3 音響外傷は、強大音によって外耳に障害を生じるものである。1 回の強大音による急性音響性外傷と、職場などでの持続的な騒音による慢性音響性外傷がある。
- 4 耳硬化症は、耳小骨のうち、ツチ骨周辺に骨新生と骨吸収による海綿状変化が生じ、種々の程度の難聴を生じる疾患である。

〔問 6〕 次の記述は、ある疾患に関するものである。この疾患の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 6。

特徴的な神経症状が、年齢依存性に出現するものである。生後半年から 1 歳半頃までは一見正常に発達するが、乳児期早期から筋緊張低下、早期の自閉傾向がみられる。その後、獲得していた運動機能の退行をきたし、目的をもった手の運動機能の消失と、特徴的な手の常同運動が出現する。

- 1 ウエスト症候群
- 2 プラダー・ウィリー症候群
- 3 ダウン症候群
- 4 レット症候群

〔問 7〕 二分脊椎に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 7。

- 1 受胎から新生児期までに非進行性の病変が脳に発生し、その結果、永続的なしこし変化しうる運動及び姿勢の異常である。ただ、その症状は2歳までに発現する。進行性疾患や一過性運動障害又は将来正常化するであろう運動発達遅延は除外する。
- 2 筋肉が壊死と部分的な再生を繰り返すことにより、萎縮を生ずる遺伝性疾患である。主症状は、進行性の筋萎縮と筋力低下である。
- 3 胎生期の脊柱と脊髄の形成不全で、本来脊柱の中にあるべき脊髄が背中側に飛び出してしまった状態となる疾患である。症状は病変部位によるが、下肢のまひや膀胱直腸障害が主にみられる。
- 4 骨を形成している成分であるコラーゲンの遺伝子変異が原因の疾患である。主な症状は、骨がもろいため骨折しやすく、四肢や脊椎、胸郭の変形などがみられる。

〔問 8〕 病弱・身体虚弱の子供に対する指導内容に関する記述として、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 8。

- 1 病弱教育では、病気等の自己管理能力を育成することは重要な指導内容の一つである。そのため、病弱・身体虚弱の子供にとって必要な生活規制とは、「生活の自己管理」ではなく、他人からの規制と考えて取り組むことが大切である。
- 2 療養中は治療の副作用による貧血や嘔吐などが長期間続く場合があり、情緒が不安定な状態になることがある。そのようなときは、悩みを打ち明けたり、自分の不安な気持ちを表現できるようにしたり、心理的な不安を表現できるような活動をしたりするなどして、情緒の安定を図ることができるように指導することが必要である。
- 3 進行性の病気の子供の場合、症状が進行して言葉による表出が困難になることがある。今後の進行状況を見極め、今まで出来ていたことが出来なくなることによる自己肯定感の高まりと、そのことに対する心のケアに留意するとともに、コミュニケーション手段を本人と一緒に考え、自己選択・自己決定の機会を確保しながらコミュニケーション手段を活用する力を獲得していくことも大切である。
- 4 心臓疾患のある子供の場合、心臓への負担がかかることから歩行による移動が制限されることがあり、必要に応じて歩行器や電動車椅子等の補助的手段を活用することになる。このような場合には、医師の指導を踏まえることなく、病気等の状態や移動距離、活動内容によって適切な移動手段を選択し、心臓に過度の負担をかけることなく移動の範囲が維持できるよう指導することが大切である。

〔問 9〕 次の記述は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領自立活動の「内容」に関するものである。記述中の空欄 に当てはまるものとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

2 心理的な安定

(1) 情緒の安定に関すること。

(2)

(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。

1 自己の理解と行動の調整に関すること。

2 健康状態の維持・改善に関すること。

3 状況の理解と変化への対応に関すること。

4 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。

〔問10〕 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領自立活動の「個別の指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

1 個々の児童又は生徒が、発達が進んでいる側面を更に伸ばすために、発達の遅れている側面を補うような指導内容を取り上げること。

2 個々の児童又は生徒に対し、自己選択・自己決定する機会を設けずに、思考・判断・表現する力を高めることができるような指導内容を取り上げること。

3 個々の児童又は生徒が、自立活動における学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組めるような指導内容を取り上げること。

4 児童又は生徒が、興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わえなくとも自己を肯定的に捉えることができるような指導内容を取り上げること。

〔問11〕 我が国における盲導犬に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。

解答番号は 11。

- 1 身体障害者補助犬法において、盲導犬とは肢体不自由のある人のために日常生活動作をサポートするものと定められている。
- 2 身体障害者補助犬法において、公共施設、交通機関、飲食店、ホテルに盲導犬を同伴することが認められているが、スーパーマーケットへの同伴は認められていない。
- 3 道路交通法において、盲導犬に着用するハーネスの色は白色または赤色と定められている。
- 4 盲導犬を新規に希望する場合は、国家公安委員会から指定を受けた盲導犬訓練施設で約4週間の共同訓練が必要である。

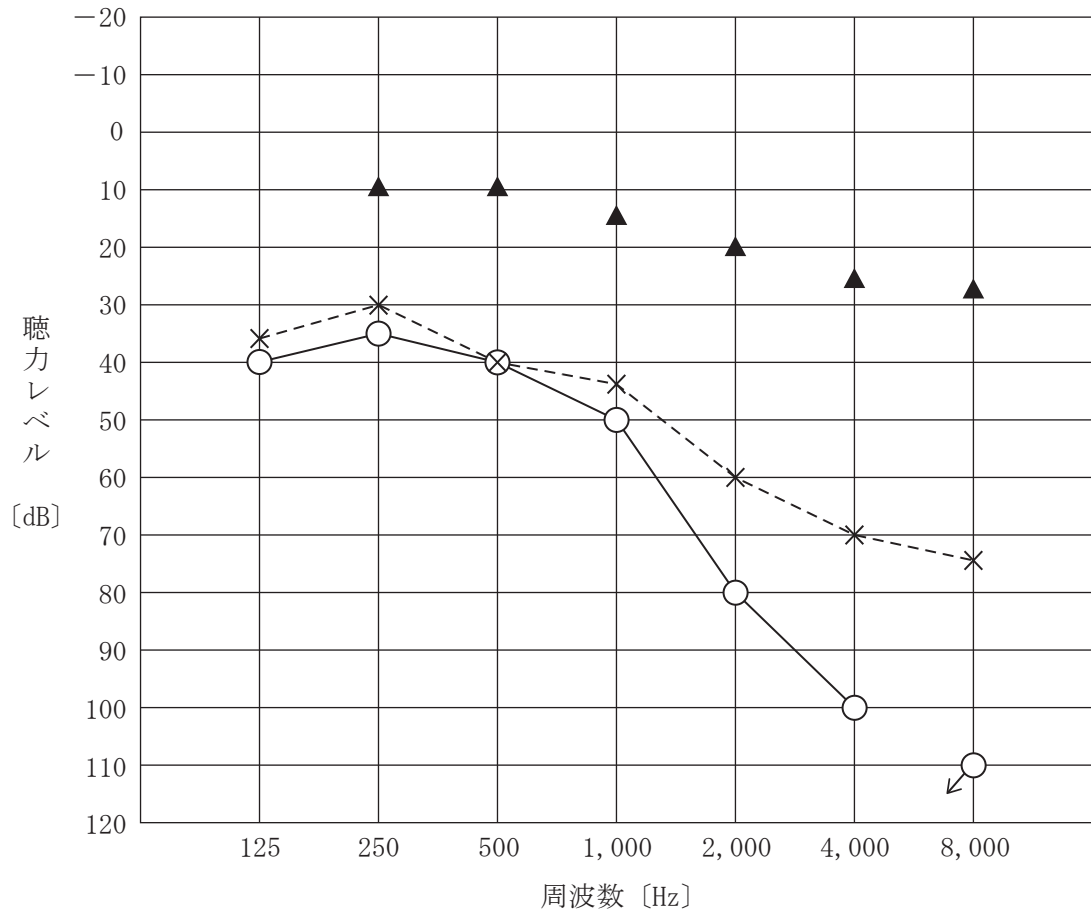
〔問12〕 白杖の操作技術に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 12。

- 1 スライド法は、白杖の先端を前方の中央あたりでは地面から2～3cm程度浮かせ、左右の両端では軽く地面に触れるように振る方法である。
- 2 タッチテクニックは、白杖の先端を常に路面から離さないで振る方法である。
- 3 白杖の構え方は、腕を前方に伸ばし、手首を身体を中心になるようにし、腕は腰の高さの位置にする。
- 4 白杖による防御は、白杖を持った腕を前方へまっすぐ伸ばし、白杖を身体の中線に対して対角線にならないように構える。

〔問13〕 眼疾患に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 13。

- 1 緑内障は、視細胞の変性や減少によって、網膜の機能が低下していく進行性の疾患である。病変は、最初は杆体に起こる。そのため、周辺視野が見えなくなる視野狭窄になり、暗所で見えなくなる夜盲が生じる。
- 2 未熟児網膜症は、網膜血管の発育が未熟である低出生体重児の網膜で、網膜の新生血管が増殖する疾患である。在胎期間が短いほど、出生体重が軽いほど高率に発症する。
- 3 ぶどう膜欠損は、隅角の形成異常により、房水が眼外に排出されないと眼圧が上昇し、視神経が圧迫されることで障害される。視神経が障害されると視野が狭窄していき、進行すると失明する。
- 4 網膜色素変性症は、胎生期の異常により、眼杯裂の閉鎖不全によって生じる疾患である。欠損の部位によって、虹彩欠損と脈絡膜欠損を生じる。

〔問14〕 次のオーディオグラムから読み取ることのできる内容として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。なお、▲は補聴器装用時の検査結果を表している。解答番号は 14。



- 1 左耳は裸耳で、8,000Hz、110dBでスケールアウトとなっている。
- 2 右耳は裸耳で、2,000Hz、70dBの音を聞き取ることができる。
- 3 右耳、左耳ともに裸耳で、20～30dBの音を聞き取ることができる。
- 4 補聴器の装用時、1,000Hz、40dBの音を聞き取ることができる。

〔問15〕 補聴器に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 15 。

- 1 補聴器の装用で必ず正常な聴力が得られるため、難聴の症状や程度、使用場面に合った補聴器を選び、正しく使うことで、日常生活が送りがやすくなったり、学習活動が向上したりする。
- 2 個々の聴力の状態に応じて補聴器の調整を行うことをフィッティングという。個々のニーズに応じてフィッティングすることが大切である。
- 3 装用部位に対応した形状によって、「耳あな型」、「耳かけ型」、「ポケット型」など、いくつかのタイプに分類される。これらは、音の伝達経路に気導を使用するため骨導補聴器とも呼ばれる。
- 4 マイクロホン、増幅器、イヤホンから構成され、マイクロホンによって受けた電気信号を音信号に変換し、増幅器で音信号を増幅し、イヤホンで音信号を電気信号に変換して出力する仕組みである。

〔問16〕 難聴に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 16 。

- 1 伝音難聴は、骨導聴力は低下しているが、気導聴力は正常である。外耳道、鼓膜または中耳の障害で生じる。
- 2 後迷路性難聴は、蝸牛の障害によって生じる。蝸牛内の障害部位によって閾値上昇を認める周波数は異なる。補充現象が特徴であり、高音域で生じやすい。
- 3 内耳性難聴は、蝸牛から上位の聴神経より皮質聴覚野までの聴覚伝導路の中で、何らかの原因で、限局的に生じた障害によって起こった難聴である。
- 4 混合難聴は、骨導聴力を上回る気導聴力の低下がみられる。内耳もしくはそれより中枢の障害に、外耳・中耳の障害が重なったものである。

〔問17〕 摂食嚥下に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 17。

- 1 誤飲は、食物や唾液が声門を超えて気道内に流入することである。
- 2 誤嚥物は、むせることによって排出されるため、誤嚥したときに、むせが必ず生じる。
- 3 窒息時は緊急対応が必要であり、背部叩打法や腹部突き上げ法を行う。
- 4 嚥下性肺炎は、誤嚥することによっておこる肺炎である。高齢者に多く、子供は発症しない。

〔問18〕 新生児の反射に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 18。

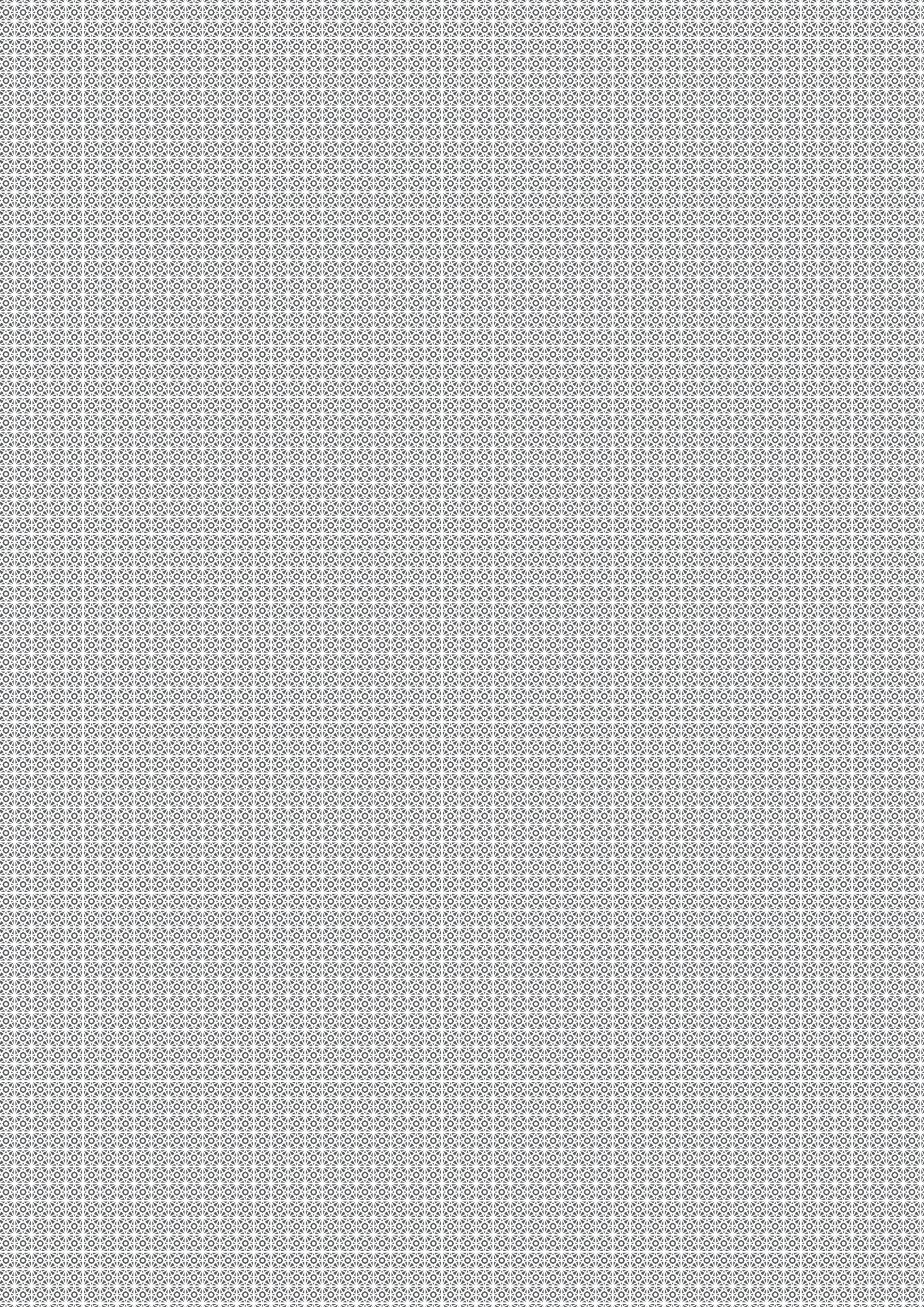
- 1 バビンスキー反射とは、新生児を仰向けにして手のひらで頭部を支えておき、その手を急に下方におろすと、新生児は両手を伸ばして前方に抱えるような動きをとることである。
- 2 モロー反射とは、足裏の外側を強くこすると、足の親指が甲側に屈曲する脊髓反射のことである。
- 3 吸啜反射とは、新生児の口に指を入れると哺乳するかのように吸啜することである。
- 4 探索反射とは、新生児の手のひらに刺激を加えるとそれを握るような動きをとることである。

〔問19〕 医療的ケアに関する記述として、「小学校等における医療的ケア実施支援資料～医療的ケア児を安心・安全に受け入れるために～」(文部科学省 令和3年6月)に照らして**適切でないもの**は、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **19**。

- 1 喀痰とは、主に咳をしたときに、喉の奥から出てくる粘液状のもので、単に広い意味で痰と呼ぶこともある。痰は大きく、唾液、鼻水、狭い意味の痰、に分けることができる。痰を吸引する適切なタイミングは、「ゼロゼロ」や「ゴロゴロ」などの呼吸に伴って出る音が目立つときやパルスオキシメーターの酸素飽和度(SpO_2)値が上昇したときである。
- 2 経管栄養とは、摂食や嚥下の機能に障害があり、口から食べ物を摂取することが困難、又は必要な量を口から摂取できない子供に対して、チューブやカテーテルを用いて、胃や腸に直接栄養を取り入れる方法である。経管栄養カテーテルの挿入部に留意すれば、特に活動に制限はないが、胃ろうを利用している子供の腹臥位姿勢の際には、胃ろう部の圧迫に留意する。
- 3 酸素療法とは、血液の酸素濃度を保てない場合のみならず、酸素レベルの低下が心臓の働きに悪影響を与える場合に、呼吸や心臓の働きを適切に保つために行う治療方法である。酸素療法を行っている場合、理科や家庭科などの授業を行う際、酸素濃縮器や酸素ボンベを装着している医療的ケア児を火気に近づけないように注意する。
- 4 ストーマとは、消化管の何らかの理由によって本来ある肛門から便を排泄することが困難な場合に、腸を外に引き出してつくられた便の排泄口である。ストーマの自己管理は、医療的ケア児本人の自立においても重要であるので、医師及び看護師等、保護者、担任、養護教諭などが連携を図り、発達段階に応じた対応・指導を行う。

〔問20〕 異常構音に関する記述として適切なものは、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **20**。

- 1 声門破裂音は、声門部でつくられる破裂音である。声門破裂音が起こりやすい音は、パ行音、カ行音、タ行音である。
- 2 咽頭破裂音は、軟口蓋と咽頭後壁でつくられる破裂音である。咽頭破裂音が起こりやすい音は、カ行音、ガ行音である。
- 3 口蓋化構音は、歯音・歯茎音の構音位置が前方へ移動したものである。口蓋化構音が起こりやすい音は、サ行音、タ行音、ナ行音である。
- 4 側音化構音は、舌の後方の舌縁で音がつくられるが、舌が口蓋に接していないため、その音声や呼気が口腔の中央から出られず、側方から出る歪み音である。側音化構音が起こりやすい音は、イ列音、サ行音、ザ行音である。



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号（－）が入ります。次の(1)～(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1～9、0の数字又は符号（－）のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の（例2）のようにマークします。

(例2)

解答 番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の（例3）のように

マークします。

(例3)

解答 番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、 2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。